



14 子育てサロンおしゃべりルームひだまり, あやとり

ひたちなか市

サロン開設年月日	平成16年6月21日
開催日及び開催頻度	ひだまり：第2・4木曜・第1・3月曜 あやとり：第1～4金曜（各月4回）
開催拠点	ひだまり：ひたちなか市 ひたちなか子どもふれあい館 あやとり：ひたちなか市 那珂湊児童館
代表者氏名	ひたちなか市更生保護女性の会 会長 堀江 やい
代表者電話番号	☎ 029-273-2589
1回の参加人数	平均 10組
1回の運営スタッフ数	平均 2～3人
参加費	無料



サロンのテーマ・目的

地域社会における犯罪予防活動の一環として、子どもの健全な育成を支援するための子育て支援活動として開設しています。

年間予算額及び主な財源

年間予算額	100,000円
(内訳) 助成金	60,000円
自主財源	40,000円

活動の概要

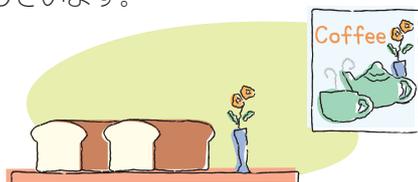
- 子育て中の親、または子育てに関わっている保護者（祖父母など）の子育てトークの場、情報交換や憩いの場、親としての学習の場を提供。会で作成した「子育て十章」を配布し、家庭のあり方、子育てへの取り組みなど話し合いながら、健全な子育ての方向を支援しています。

身近な人材や施設など地域の社会資源の活用

- 子どもふれあい館、那珂湊児童館の二か所で子育てサロンを開設し、消防署の救命士を講師に小児救急法の講習会を開いたり、親子ふれあい体操や子守唄を広める活動を行うとともに、食生活改善推進協議会の会員でもあるスタッフによる手作りおやつ実習・試食会を開いています。

サロンの特徴

- 保育や子守りが目的ではなく、更生保護を基盤にした、犯罪予防の観点から心豊かな子どもを育てるためのノウハウを子育て中の保護者に伝えることを目的にしています。





サロン実施にあたって苦労したこと

人集めに関して

- 運営スタッフは、ひたちなか市更生保護女性の会の会員で、主にそれぞれ地元の会員が担当しています。
- 会の他の活動との兼ね合いや運営スタッフ確保のため、ひだまりでは開設日の曜日を第1・3月曜日、第2・4木曜日と変えながら開設し、あやとりでは地元那珂湊地区外の会員スタッフを動員し、担当者を確保しています。
- 参加利用者集めでは、各館での募集チラシや市報などで広めたり、フリーマーケット開催時や公民館まつりなど、会の広報活動とともにチラシを配布し、募っています。

活動拠点に関して

- 「子どもふれあい館」の設立時、子どもふれあい館運営委員会に加入、初代館長より本会へ、子育て支援活動の協力要請のお話をいただき、「子どもふれあい館」に『ひだまり』を開設しました。
- 『あやとり』は、市児童福祉課より、子育て支援のサロンの要請を受け、「那珂湊児童館」内にて開設しました（ひだまり開設より10ヶ月後に開設）。

財源に関して

- 会員や地域の方からの寄付の品をフリーマーケットで販売した収益金などのほか、本会の子育て支援事業費より捻出。
- 助成金（県・市社会福祉協議会等）。



委員からの一言コメント

若いお母さんとその子供たちがいつのまにか集まってきます。元保育園を現在、地元の自治会が運営し、そのスペースを子育てルームとして利用しています。安全な空間で親子が共に楽しい時間を共有できることは思い出としていつまでも残ることでしょう。そして、関わっているスタッフも年代的にはおばあちゃんとしての立場でふれあいがあり、家族以外の交流が展開されています。ほのぼのとしたふれあいの中から、お互い貴重な何かを学び合えるような気がしました。その年代での知恵を若いお母さん方が吸収し、さわやかな育児が続けられることでしょう。教科書のない自然体での昔ながらの子育ては誰もがこころの奥底にやき付いている古里のようなもの、ほっとできる何か懐かしいひとときを味わいました。（小松崎登美子 委員）

サロン開催の効果

- 開設当初、若い方の中には、あいさつのできない方も多く見られました。会員の声かけや、子育て、親子関係、地域や他者への関わり方など、話し合ううちに親子できちんとしてくださるようになりました。
- サロンの中で、たくさんのコミュニケーションをとり、ストレス解消、仲間作りが上手く出来ているように見受けられますし、そういった参加者の感想も聞かれます。私たちの会のすすめる青少年健全育成、犯罪予防活動、更生保護の話は快く聞いてくれる基盤ができてきています。

サロン開催の課題、今後のサロン活動への想い

- 子守唄をすすめることは、親子の絆を深めることで犯罪予防に繋がりますので、強化していきたいと考えています。サロン運営スタッフの年代層から参加者の年代で三世代交流の形になっていますが、さらに地域の高齢者の参加が加われば、地域との関わり、交流が深まり、地域で子育ての地盤が出来るうえ、高齢者の孤立化の防止になるのではと、サロンの拡大を考えています。

